

第1回市民自治推進委員会議事概要

1 日 時 令和5年6月2日（金） 10:00～11:30

2 会 場 鳥取市役所本庁舎 6階 第7会議室

3 出席者

(1) 委 員 神部委員、倉持委員、佐藤委員、鈴木委員、田中委員
椿委員、徳田委員、中川委員、松本委員（50音順）9名出席

(2) 鳥取市 市民生活部：大島次長
協働推進課：北村課長、西垣課長補佐、綱田主事、小川主事
生涯学習・スポーツ課：川上主査

4 委員長及び副委員長の選出

委員長 中川玄洋氏
副委員長 鈴木伝男氏 を選出

5 議 事

(1) 報告事項

①鳥取市市民自治推進委員会について【資料1】

(事務局)

【資料1説明】

②活動計画（案）について【資料2】

(事務局)

【資料2説明】

③「協働のまちづくり」の取組について【資料3】

(事務局)

【資料3説明】

(委員)

人が集まる場所（仕組み）をつくるのはなかなか難しい。どういう理由で地区公民館を活用したいという要望がきているのか詳しく教えてもらいたい。

(事務局)

個人の収益になるような活動は現在公民館では制限をかけているが、地域住民からは住民の方を対象にした塾を行いたいなどの声もあがっており、地域の社会教育に携わっていただける人材が活躍できる場にしていくことが大事だと考えている。

また、公民館を「産業振興の拠点」としていくことも一つのポイントで、まちづくり協議会は市の補助金と自主財源で活動していただいているが、地区公民館を拠点とした事業によって自主財源を増やすことにつながれば、活動の広がりにも期待ができる。

④公民連携デスクについて【資料4】

(事務局)

【資料4説明】

(委員長)

現状、提案団体は民間事業者が多いか。

(事務局)

企業からの提案が大部分を占めている。

(委員長)

岡山市では早い時期に公民連携の対話の場を開設している。NPOの方々がもともと社会課題に対し活動されていることから、NPOと担当課でやり取りする中で施策化する流れをつくっている。先行事例を参考にしながら、事例の出し方・共有方法を検討してもらいたい。企業だけでなく、声なき声を普段から拾っているようなNPOの団体からも提案を受け付けていければよいと思う。

(委員)

事業内容を公表できるタイミングはいつになるか。

(事務局)

調整できたものから随時ご報告する予定にしている。

(委員)

途中経過も含めて知っていただくことも大事だと思う。そのあたりの広報もお願いしたい。

(委員)

民間事業者等が提案しやすいよう、周知の方法はどのようにされているか。

(事務局)

市長記者会見での公表、ウェブサイトでの周知、企業のネットワークを通じた情報発信等により呼びかけを行っている。

(委員)

本委員会は公民連携デスクに対して今後どのような立ち位置となるか。

(事務局)

協働のまちづくりガイドラインに示している取組施策の1つであることから、本委員会でも進捗を報告し、随時調査・審議をいただきながら事業を進めていきたい。

(委員長)

とっとり県民活動活性化センターや鳥取市社会福祉協議会などの東部エリアの組織と定期的に打ち合わせを行い、地域課題のエアポケット（誰も手をつけていない空白の部分）を事前に把握しておくことで、より効果的に事業が進めていけると思う。

⑤市民まちづくり提案事業について【資料5】

(事務局)

【資料5説明】

(2) 協議事項

①市民まちづくり提案事業（自主事業部門）審査会委員の選出について【資料5】

(委員長)

自主事業部門について審査委員を1名選出したいがいかがだろうか。

もしご自身が活動されている団体が本事業を申請する予定がある場合、審査員はお控えいただくのがよいと思われる。審査員になっていただいた際は、住民目線でどんな活動が広がったらご自身もしくは周囲の人にとって『まち』がよくなっていくだろうかという観点で、審査会ではお話しただけたらと思う。本事業は「団体を育てる補助金」でもあるため、前向きなご意見・アドバイスをお伝えいただきたい。

《協議の結果、審査会委員は鈴木委員に決定》

(3) その他

(事務局)

次回は、7月下旬から8月上旬ごろの開催を予定している。